



針金 勝彦
(平政会)

地域包括 支援センター

質問 特定高齢者の把握件数が少ないと思うが、周知及び受診をどのように促しているのか。また、要支援者の介護予防ケアプラン作成に必要とされるケアマネジャーの人数や今後の取り組みをどのように考えているのか。

答弁 受診の推進については、健康推進員のブロック別説明会や民生児童委員会の地区別定例会などでパンフレットの配付をお願いしているほか、介護サービス事業者や介護支援専門員への説明会を開催して周知、協力をお願いしている。介護予防ケアプラン作成は、年間750人ほどと見込んでいるが、130人ほどは介護支援事業所から受託いただけたとの内諾を得ている。地域包括支援センターでは、620人ほどの作成が必要になり職員1人当たりの作成は40人程度になると考えている。ケアマネジャーの人材確保に努め、順

次体制を整えていきたい。

いじめ問題

質問 子供は社会の宝といわれながらも、いじめにより尊い命を絶つ事例が多くなっている。市内の小中学校の現状はどうなっているのか、また、その結果をどのように分析し対応しているのか、今後の対策があるものかお尋ねしたい。

答弁 各小中学校からの報告では、指導を継続中のいじめ件数は11月末現在で、小学校1件、中学校1件の計2件。能代商業高校からは、いじめはないとの報告を受けている。また、保護者等からいじめではないかとの相談は5件あった。対応としては、いじめの早期発見の手だてや校内体制のあり方などをまとめた「いじめ根絶に向けての取り組み」を配布したほか、児童生徒には、「自分を大切にしよう」と題した市長メッセージを届けた。今後、パネルディスプレイの実施など、広く参加を呼びかけながら、学校・家庭・地域の連携強化を図っていききたい。

針金議員のその他の質問事項

- 今後の市政の推進について
(分庁方式・総合計画)
- 要支援該当者の推移について



今野 清孝
(市民の声)

市長のプランと 財政状況

質問 市長のプランを問う市民の声がある。新年度予算に、市長みずからプランをどう反映させるのか。財政推計と現実のギャップの要因は。監査委員決算審査意見書や決算特別委員会の議論を踏まえて、どう対応するか。

答弁 プランは来年度策定予定の総合計画に位置づけることになるが、体験型・滞在型観光の取り組みや能力活用を含めた企業誘致、企業支援、環境産業創出、地域の応援による子育て支援、行政窓口の利便性向上など新たな施策は、できるところから着実に進めたい。財政推計との差は、事業費の減に伴う市債、補助金等の減、国の三位一体改革に伴う国県支出金の減などによる。収入未済額の減少を図るなど歳入確保と人件費削減や一部事務組合負担金、市単独補助金などの見直し等により経費削減に努めたい。

能代産業廃棄物 処理センター

質問 環境対策協議会において、地元住民から、他の処分場についても重機試掘調査を求められた場合、市としても県に要望していく考えはあるのか。また、同センターに最も近い小野沢地区への上水道布設の見通しは。

答弁 県は、12月中旬に環境対策協議会を開催して今後の対応について協議することとしているので、市としては地元住民の意見を尊重し対応していきたい。また、小野沢地区に上水道を布設する場合、大森・犬伏・中沢地区などを含めて考えており、試算では常盤地域や二ツ井地域の事業と比較し、建設単価が給水人口1人当たり約2.5倍となることから、現段階では大変厳しいものと認識している。

今野議員のその他の質問事項

- 自治基本条例の制定について
- 改正介護保険法について
- 農地・水・環境保全向上対策